

令和元年度第 1 回花巻市立図書館協議会 会議録

1 開催日時

令和元年 7 月 17 日（水） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 45 分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

3 出席者

（1）委員（8 名）

市川浜委員、門馬優子委員、高橋則子委員、佐々木さつき委員、  
熊谷恵委員、坂本知彌委員、佐藤三恵子委員、白藤祐三委員

（2）事務局（9 名）

市川生涯学習部長、藤原生涯学習課長、梅原花巻図書館長、  
小原大迫図書館長、火石石鳥谷図書館長、久保田花巻図書館副館長、  
伊藤花巻図書館業務係長、黒澤石鳥谷図書館主査、多田東和図書館司書

4 欠席者

2 名（菊池一英委員、阿部久幸委員）

5 傍聴人

4 名

6 議題等（議事録）

◎会議に先立ち事務局紹介

・生涯学習部長、生涯学習課長及び花巻・大迫・石鳥谷・東和図書館の館長、職員  
の順で自己紹介。

◎会議成立の報告（久保田花巻図書館副館長）

・委員10名中 8 名出席。出席委員数が構成委員の過半数を超えているので、花巻  
市立図書館協議会規則第 7 条により、本会議が成立することを報告。

1 開 会（久保田花巻図書館副館長）

2 あいさつ（坂本会長）

皆さまおはようございます。お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。図書館（建設）については着々と進んでいることと思います。市川部長がいらっしゃいましたので、お話を聞けることを楽しみにしております。充実した協議ができますようご協力よろしくお願いいたします。

（○久保田花巻図書館副館長）

ありがとうございました。協議会規則第6条により、議長は会長となりますので、よろしくお願いいたします。

（○坂本会長）

それでは、早速議題に入らせていただきます。（1）の平成30年度花巻市立図書館の事業実施状況等について、事務局よりご説明お願いいたします。

### 3 議 題

#### （1）平成30年度花巻市立図書館の事業実施状況等について

- ・平成30年度花巻市立図書館の事業実施状況について、（平成31年3月末までの実施状況を）花巻図書館から順番に各館が説明。

花巻：伊藤花巻図書館業務係長、大迫：小原大迫図書館長、石鳥谷：黒澤石鳥谷図書館主査、東和：梅原花巻図書館長

- ・平成30年度決算・令和元年度予算概要及び図書館統計等について、久保田花巻図書館副館長から説明。

（質 疑）

（○坂本会長）

それでは、今説明していただいたことに関して、ご質問がございましたらば、お願いいたします。

（○佐々木委員）

佐々木と申します、よろしくお願いいたします。資料1－2図書館統計の2頁目、利用統計の「表1－1 利用登録者数及び登録率の推移」のところですが、平成26年度だけ爆発的に登録があるのですが、これは何かがあったのでしょうか。教えてください。

（○久保田花巻図書館副館長）

登録者数については、平成26年度以前もこの登録者計に近い人数で推移をしておりましたが、平成27年度から登録者の捉え方を見直しました。26年度までは、一旦登録すると何年も利用されていない方も、登録者数としてカウントしていましたが、27年度からは、登録してから3年以上利用がない場合は、登録自体は取り消しになりませんが、登録者数にはカウントしない形に見直しを行いましたので、その後の人数が極端に減っている形になっております。

(○坂本会長)

なるほど。ほかにございませんか。

(○門馬委員)

各図書館で職場体験の受け入れをされています。大迫図書館の大迫中・大迫高というのは地元の中高ということでわかるのですが、ほかの図書館を見ますと紫波総合高校ですとか、地域を越えて受け入れをしているようです。これは広く募集しているものなのか、それとも学校側からの希望なのか、どのような方法なのでしょう。

(○伊藤花巻図書館業務係長)

市立図書館での職場体験等の受け入れについては、学校側からのお申し入れをいただいた後、こちらで受け入れが可能かどうかを確認しまして、ご連絡させていただいておりますので、市外の学校であっても、希望いただいて対応可能であれば、OKしているという形です。こちらから広く募集はせず、学校側からお声がけをいただいているような形になります。

(○坂本会長)

つけ加えて、私どもの職場でも職場体験の受け入れをしていますので、例えば花巻から紫波総合高校に通っている子どもは、花巻で職場体験をしたいということもあるようです。先生が職場体験先に、子どもたちがきちんとやっているかどうか、様子を見に訪問してくださるようです。

ほかにございませんでしょうか。

(○白藤委員)

事業の実施状況の中で、(3)の読書活動推進事業の「読書おもいで帳の発行」は、私もとても興味があるのですが、交付者が前年度に比べて、1,236人と大幅に増えています。0歳から中学生までを対象にということですが、どのようにして、この読書おもいで帳を利用できますということを皆さんにお知らせしているのか、具体的な広報についてお聞きします。

(○伊藤花巻図書館業務係長)

平成29年度に、まずは市内の小学校新入学生を対象に読書おもいで帳を交付しましたが、昨年度初めて、0歳から中学生までに対象範囲を広めましたので、春先から各学校や幼稚園・保育園等にチラシやポスターを配布させていただきました。「読書おもいで帳を作れるようになります」というお知らせをさせていただきました。また、乳幼児に対しても交付できるようになりましたので、その方たちに関してはブックスタートで皆さんにお会いするときに、チラシをお配りしてお知らせをしたところでした。後はホームページや広報でもお知らせをしております。

(○坂本会長)

ほかにございませんか。

一つよろしいでしょうか。ブックスタートの参加率、花巻市の97.8%は高いと  
思っているのですが、他所の状況はわかりますでしょうか。もしわかるのであれば、  
教えてください。わからなかったら結構です。

(○伊藤花巻図書館業務係長)

細かい数字や割合に関しては存じ上げないのですが、やはり花巻は昔からブッ  
クスタートに取り組んでおりますので、かなり高い割合でお渡しできているとは  
感じております。ほかの市町村でも取り組んでいるところがありますが、やはり  
配布がなかなかできない。小さい町村ですと全員にお会いしてお配りすることも  
でき、割合が高いのですが、やはり花巻市規模のところだと、なかなか高い割  
合でお渡しできるのは少ないと思いますので、花巻市は比較的高い割合でお渡し  
できているのかなと思っております。

(○坂本会長)

高い割合はとてもいいことだと思うのですが、もらえていない人のほうが心配  
ですよね。要するに乳幼児の健康診断に来ていない、それからフォローアップに  
も来ていない人たちが心配。虐待につながるというようにすぐ短絡的に思う訳で  
はないですが、ここまで高い割合で渡していると逆にもらえていない人のことが  
すごく気になります。保健センターでは健康診断に来ない方のところには、訪問  
しているかと思うのですが。

(○伊藤花巻図書館業務係長)

保健センター（健康づくり課）と情報交換をしておりますので、お渡しできて  
いない方に訪問に行かれるときには、できるだけその際にお渡しいただければと  
いうことでお願いしておりました。ただ、やはりどうしても、お渡しできない方  
が出てしまうようで、100%というのはなかなか実現していないのですが。

(○坂本会長)

ここまで来ると、100%目指したいと思いますが、そこが厳しいところですね。

(○伊藤花巻図書館業務係長)

やはりご事情がいろいろとあるようです。

(○熊谷委員)

ブックスタートで本を配る訳ですが、「いりません」というご家庭はありませ  
か。例えば3人くらいでいらして、「もう『これもこれも』あるのでいいです」  
というようなご家庭もございますか。

(○伊藤花巻図書館業務係長)

お渡しした本について、もう貰いましたという方は、確かにいらっしゃいます

が、ほかの交換本といいますか代替えの本を何種類も準備しておりまして、お持ちになっていない本をお選びいただくという形をとっておりますので、本がいらないという方は、今のところ私は存じ上げません。

(○坂本会長)

本にシールが貼ってあって、誰々ちゃんの本というようになる。だから兄弟がいて、同じ本であっても「これ自分の本だ」というようになるのかと思い、そこがすごくほほ笑ましく思ったことがありました。

ほかにございませんでしょうか。質問ではなく、ご意見がございましたらば、ご意見でも構いません。

この席にいと非常に話しにくいのですが、私から。

いろいろな企画、それからいろいろな取り組みを各館がされていて、とても素晴らしいと思っております。でも、例えば、私は花巻なのですが、先ほどの東和の神楽の講演会のことは、事前には知りませんでした。知っていれば、神楽のことを追っかけするくらい好きな友達に知らせてあげれば喜んだだろうと、今ふと思いました。それから、東和のアーティストのことについても、東和の人は萬鉄五郎、それから伊藤敦子さんと聞いてもわかるのですが、他の地区ではわからない。石鳥谷の場合もそうだと思うのです。ですから、花巻の宮沢賢治さんは非常にメジャーなので、まずそれは置いておくとしても、他館の取り組みを巡回させるなどして何かできることはないでしょうか。

例えば、石鳥谷の「戦争の記憶—絵はがき展」。あれは戦争に関して、自分たちが体験したことを絵はがきにして広く集めたもので、見たときすごく感動しましたし、子どもたちも連れて行ったのですが、子どもたちも絵本や耳で聞く以上の「思い」を何か感じたみたいです。石鳥谷まで行くのは大変ですが、巡回して各図書館で開催されていれば、図書館に行ったついでに、「何かやっている」と思って見るだけでも、違うのではないかと思います。せっかくのそれぞれの館の企画を、その館だけで終わらせず、取り替えて実施するということも考えてみてはいかがかなと思ったところです。難しいかもしれませんが、何か一つ、これはうちの目玉というのを、取り替えしてみるのも、何か楽しいのではないかと。

隣のところまで行ってみるという機会を得ることはなかなか難しいので、巡回ということがあればいいと思ったことと、せっかく企画展示をやるのだから、もう少し何かPRできたらいいなと思うことの二つです。言葉が足りなくてうまく説明できたかどうかわかりませんが、この二つが実現されれば「図書館で何かやっているようだ」というようなことから、広がっていくのではないかな、利用者が増えていくのではないかなと思ったところでした。

(○白藤委員)

坂本会長がおっしゃることに同感です。各館でよい企画展をやっているのですが、4館でそれを知る方法というか、お互いに連絡を取り合って、図書館サイドから共同で働きかけて欲しいですね。私もあちこち行きますけど、せっかくそういう企画が地元だけというか、その地域だけではなくて地域以外の人でも、同じ花巻の中ですから、やはり関心を持っている人もいると思うので、そういう働きかけを各図書館で取り組んでいただければいいかなと思います。

(○梅原花巻図書館長)

ご意見ありがとうございます。企画展などについては、広報に毎月1頁ある図書館情報のコーナーで各館のいろいろな情報を「東和図書館はこういうことをしています」、「石鳥谷図書館はこういうことをしています」というようにお知らせしておりますが、それ以外は、各館ごとに個別にお知らせするというようになっておりましたので、各館の企画展のいろいろな情報を他館でも流せるように工夫してまいりたいと思います。

企画展の巡回展も楽しいのではというご意見については、巡回展ができるかどうかということをこれから相談していきたいと思います。ただ、東和図書館や石鳥谷図書館、大迫図書館は、ギャラリーを持っていますので、巡回して展示ができと思うのですが、花巻図書館はなかなか（展示スペースがない）ということがありますので、今は難しいですが、巡回企画展はとても面白いなと拝聴しました。生涯学習課の先人ギャラリー展を図書館に展示するなど、そちらではいろいろな巡回展がありますが、図書館だけでというのはなかったもので、どういう形であればできるのか考えていきたいと思います。

(○坂本会長)

ありがとうございます。ほかにご意見ございませんでしょうか。

(○佐藤委員)

今後の希望といいますか、6月1日が花巻市の「いじめ防止を考える日」でしたので、今年石鳥谷中学校では、石鳥谷図書館から借りたいじめの本を展示しました。石鳥谷図書館が貸し出しして展示、そういうことをされて、とてもいいなと感じました。いじめの本は、いじめている子どもは絶対手にとらないし、いじめられている子ども困っていても絶対借りないと思いますので、そういう展示の仕方、さりげなくアプローチしていくことは、すごくいいことだと思ったのですが、そのような活動は、今後この事業実施状況に掲載になり、皆さんに知らせることができるものなのか、図書館の司書さんが学校に出向いて、子どもたちに働きかけたということも、図書館の活動としては本当に皆さんに知ってもらいたい活動だと思うのですが、そのように図書館から出向いて、何人来ているのか、利用者が何人いるとかが全くわからないような活動は、この事業実施状況に掲載

されないものなのか、ということを聞きたいです。

(○火石石鳥谷図書館長)

石鳥谷図書館の今年度の事業でもお話ししようかと思ったのですが、この資料にはございませんが、実は学校教育課の学校図書館支援員の先生から「こういった本を中学校に貸し出しということを考えている」というお話をいただきまして、こちらの司書と職員で相談して、それに適したような本を選び、期間でいえば5月31日から6月5日まで、44冊を団体貸し出ししたということがありました。これはあくまでも、ご提案いただいた経緯はありましたけれども、図書館としても学校との連携を常に考えていますので、今後もこういったことはできたらいいなと思っています。もう一点ですが、まだ具体化はしていませんが、石鳥谷中学校でも読み聞かせをしたいというお話がありまして、今地域のボランティアの方などにご相談している段階です。今後もそういったことを、できる限り考えていきたいなと思っております。

(○坂本会長)

では、それらも図書館独自の事業実施状況のどこかに紛れ込ませて教えてください。せっかく、学校図書館支援員という制度ができたので、その先生の活躍でそのようなことができたということは、とても大きな一歩だと思いますから、そういうことも教えていただければいいなと思います。よろしくお願いいたします。

ほかにはございませんでしょうか。それでは、次の(2)の令和元年度花巻市立図書館の事業計画について、ご説明お願いいたします。

## (2) 令和元年度花巻市立図書館事業計画について

令和元年度花巻市立図書館の事業計画について、(令和元年6月末までの実施状況を)花巻図書館から順番に各館が説明。

花巻：伊藤花巻図書館業務係長、大迫：小原大迫図書館長、石鳥谷：火石石鳥谷図書館長、東和：梅原花巻図書館長

(質 疑)

(○坂本会長)

ありがとうございます。ただいまご説明いただきましたけれども、このご説明に対する質問等ございましたらばお願いいたします。

教えてください。4頁の大迫図書館の『ポーセラーツ展』。ポーセラーツ展というのはどんなことですか。

(○小原大迫図書館長)

白い皿、もしくはポットやカップなどに、絵付け、またはシールのような紙で

絵を転写し、それを焼き付けたものになります。

(○坂本会長)

そうすると、そこで色を付けたり何かしたものを、すぐその場で焼き付けることが可能なのですか。

(○小原大迫図書館長)

その場では焼き付けができませんので、(7月)27日に作っていただいたものは、いったんお預かりし、一週間から10日ほどしてから取りに来ていただくという形になります。

(○坂本会長)

陶器のいろいろな作品に、絵付けをするというように考えればいい訳ですね。

(○小原大迫図書館長)

そうです。27日は丸い白いお皿に絵付けをしていただくという形です。

(○坂本会長)

何か新しいことがでてきて、楽しそうと思って拝見しました。

(○熊谷委員)

そのときには、参加者にお金がかかるのですか。

(○小原大迫図書館長)

体験料として、小中学生は1,000円、高校生から大人までは1,500円いただきます。小学生以下のお子さんでもできるようなので、そのときは保護者同伴でお願いしますということを周知しております。

(○坂本会長)

お皿の値段ということですよ。お皿プラスアルファですか。

(○小原大迫図書館長)

プラスアルファです。

(○坂本会長)

焼き付けますからね。

(○門馬委員)

講師の方々は、大迫の方たちですか。

(○小原大迫図書館長)

はい、大迫の方です。ポーセラーツの伊藤さんは、内川目の方です。

(○坂本会長)

ガラス細工などをやっている方々とは違いますか？

(○小原大迫図書館長)

ガラス細工の方ではないです。

(○坂本会長)



いろいろな方が大迫にはいらっしやいますね。面白いですね。

面白いついでに3頁の「本のくじ引き」はどうするのですか。

(○小原大迫図書館長)

「本のくじ引き」は、昨年も行って好評でしたので、今年度もと考えておりまして、いろいろな書籍の名前を書いたくじを箱の中に入れて、来館者に1枚ずつ引いていただき、それを借りていただく仕組みです。

(○坂本会長)

借りるのですか。くじ引きなので、もらえるのかなと。その場合、自分の好きではない本だったらどうなるのだろうとひとりで思っていました、借りるのですね。では、これは嫌だということもありますね。

(○小原大迫図書館長)

はい、あります。

(○熊谷委員)

でも、借りていただきますよね。

(○小原大迫図書館長)

そうですね。何かの本は借りていただきます。

(○坂本会長)

本を読む取っかかりになりますね。自分の好きな本だけではなく。

ほかにご質問がございませんでしょうか。

(○佐藤委員)

先ほど花巻図書館で太田小学校へ出向いたとの話がありましたが、先日、花巻市読書ボランティアネットワーク協議会に（5月31日にここで行われました）参加して資料をもらいました。平成30年度「岩手県子どもの読書状況調査」集計結果という資料で、そのなかで、平成30年度小学生が1か月に1冊も本を読まなかった不読の理由が、「読みたい本が見あたらない」が51%、「勉強が忙しい」が7%、「スポ少・部活が忙しい」が20%、「趣味・付き合いが忙しい」が4%、「本は読まなくても不便はない」が18%。それで、この「読みたい本が見あたらない」51%の子たちに読みたい本を渡すことができれば、読むということになると思います。本当に図書館が出向くというか、親が連れて来てくれないとか、ちょっと図書館が遠いとか、いろいろな理由があると思いますが、図書館に来ない、来られない理由がある「読みたい本が見あたらないから読まない」という子どもたちに、「この本はどう？」と薦める、先ほどの太田小学校に出向いたような機会がどんどん増えれば、この子どもたちは読むのではないかなと思いました。何か工夫ができればいいのかなというようにも思っています。

(○熊谷委員)

東和小学校では月に1回、朝の読み聞かせがありますので、今朝も門馬委員さんと一緒に行ってきました。読み聞かせのときに私は図書館で本を借りて、その本の中から、「何年生ならこのぐらい」というような感じで読むのですが、今日は読み終わってから子どもが寄って来て、「その本は図書館に行けばあるのですか」と聞かれました。読み聞かせをしていると、子どもたちが今まで自分では考えなかったような本を、私は自分の好みで持って行って読みますから、「本は図書館で借りていますよ」、「本は東和図書館にあるのよ」と言ったら、「図書館にあるんですか」と言われました。こういうとき、子どもたちは学校の図書室とはまた違ったほうの目を向けますので、私はそのときにこの読み聞かせをやっていてよかったなと思いました。ほかの学校では、そのような取り組みをしていらっしゃるかどうかわかりませんが、東和図書館の本を利用して東和中・小学校ではこのようにしておりました。

(○坂本会長)

そうですね、50%もあるのであればね。読みたい本が見つからないというのは、かわいそうですね。取っかかりがすごく大事なのかなと思います。私のいる学童クラブですけれども、今、1年生から3年生がほとんどで、6年生が1人、4年生以上が少しいるのですが、この間、その子どもたちに「花いっぱいになあれ」を教科書から取った絵のうしろに紙芝居のようにして、絵が前面に見えるようにしたものを読みましたら、たまたま学童でひまわりが咲いていたので、「ハァッあの本と同じだね」と言った子どもが何人かいました。そのとき、やはり環境づくりのようなことも大事なのかと思ひまして、花を植えていてよかったと単純に思いました。純粋な子どもの時期に、いろいろな「心を耕す」ようなことを、大人はしなければいけないのだろうなというように思っています。

だから、この50%読む本がないというところで、大迫図書館も何年か前から、学童まで「出前（おはなし会や映画会）」という形で出向いてくださるようになって、学童でたくさんの子どもたちを連れて移動するのは、職員も少なかったり、留守にしている間に連絡があったらと心配だったり、いろいろなことがあるものですから、ちょっと出にくいのですが、来ていただけるのであれば大歓迎だと思うのです。どこの図書館もお忙しいとは思いますが、自分のほうから動いて行くということも、大事なのかなと思います。このことは、何かの会議で話し合われるときの参考にしていただければと思います。やはり待っているだけではなくて、出向くということも一つかなと思いますので、石鳥谷図書館の中学校に本を貸し出すということも一つ進んだことだし、何か一歩ずつでも進んでいければいいなと思います。

(○市川委員)

関連しますが、（花巻市青少年育成市民会議では）保育園や幼稚園にボランティアグループの皆さんに来ていただいて、読み聞かせをやっています。市内保育園と言いましても、今の段階では東和・大迫・石鳥谷だけなのですが、ご協力をいただきながらやっております。園の先生方にも「助かります」、「是非続けてください」とのお声をいただいておりますが、1年に1回しか回れないので残念だと思っております。多くの（読み聞かせの）ボランティアサークルがありますので、そういう方々に呼びかけてご協力を得ることは、大切なことだと感じており、市民会議ではこれからも、さらに続けていきたいと思っているところで

（○坂本会長）

ありがとうございます。ほかにご意見ございませんか。

（○門馬委員）

先ほど東和図書館で神楽の講演会のお話がありましたが、私も行きたかったのですが、都合がつかずに欠席してしまいました。評判がいいわりにはたった13人の出席だったので、とても残念だったのですが、そういう好評を博したものに關してはなおさら、また、そういうものに限らず、1回限りで終わらないで、第2弾・第3弾といいますか、そういう発展的な展開を考えていただきたいということと、例えば石鳥谷図書館では近くにルンビニー苑さんがありますので、小林さんを継続的に講師に招いていろいろやっていらっしゃるという好例がございますので、是非いい企画は1回だけで終わらせずに、2回・3回と続けてやっていただきたいと思います。神楽に関しては、本家本元の大迫図書館に行くことと実物を展示していますから、私も行ってわからなかったことやいろいろな呼び名とかを改めて見まして、勉強させていただきましたので、是非そういう利用の仕方もしていただきたいと思いました。

（○坂本会長）

ありがとうございます。ほかにご意見、ご質問合わせてございませんでしょうか。

（○白藤委員）

大迫図書館、石鳥谷図書館ではリサイクルフェアやリサイクル広場、東和図書館では古本市と、それぞれ取り組まれています、私はまだ一回も見たことがないので、どの程度利用されているものかということと、それからこれは4館共通なのですが、除籍資料の中で特に絵本関係について、除籍になっている本は全く無駄になって使えないものなのか、その辺の様子を教えてください。

（○坂本会長）

それでは古本市についてと、それから除籍図書について、事務局よりお願いい

たします。

(○梅原花巻図書館長)

私からは、東和図書館の古本市についてお話しします。私は12月の古本市には行きませんでした、春の古本市には今年と去年と続けて行かせていただいて、とても多くの方がいらっしゃっていたので驚きました。私が行ったのは、2日目の日曜日でしたが、それでも大勢の方がいらしていました。(結の会さんから)お話しを伺うと、初日の土曜日の朝は、開始時間前からたくさんの方が並ばれたということでした。そして、結の会さんには、古本を購入していただいたお金で東和図書館にたくさんの絵本を寄贈していただいております。

除籍につきましては、本当に古くなり修繕もできない、再利用できない状態になった本を除籍しております。

(○小原大迫図書館長)

大迫では、リサイクルブックフェアを昨年の10月20日から31日に行いました。リサイクルブックフェアは、利用者さんから寄贈された本や雑誌の無料交換市として行っておりまして、一応1人10冊までと冊数制限をしております。10月のリサイクルブックフェアは978冊ほど用意し、利用冊数は334冊でしたし、3月は997冊用意しまして、利用冊数は355冊でしたので、3月のほうが少し増えているという利用状況になっております。

(○火石石鳥谷図書館長)

石鳥谷についてですが、そのとおり皆さん楽しみにしていらっしゃいますし、減った分を追加で補充していますので、2日間ともいらっしゃる方もおります。

本についてですが、本というのはやはり”思い”もありますので、かなり修理をして使い、除籍になる本というのはよほど古くなった状態ですので、それらをリサイクルのほうに回すということは、まずほとんどないようです。

(○坂本会長)

ありがとうございます。ほかにはよろしいでしょうか。それでは、この(2)の令和元年度の事業計画についてはよろしいですか。

(○伊藤花巻図書館業務係長)

一つ大事なことを申し上げ忘れたのですが、「みんなでライブラリー」の第3回目は、9月14日の土曜日に「かるたで楽しむおすすめ本」と題して行いますが、こちらの講師先生が門馬優子委員ですので、是非、皆さまもご参加いただければと思います。

(○坂本会長)

お時間を作って、是非お申し込みいただければと思います。9月の第2土曜日、9月14日ですと花巻まつりですね。人手不足で、なかなか抜けられないの

で、日にちを変更したほうがいいかもしれません。せっかくやるのだから、ご検討ください。

それでは、（３）のその他を事務局からお願いいたします。

### （３）その他

#### （○梅原花巻図書館長）

坂本会長から事前にお話がありましたので、先日掲載された岩手日報の「県内図書館利用者情報の警察照会 内心の自由か捜査か」という記事についてご説明します。記事が掲載されたのは７月７日ですが、この記事は、岩手日報で県内すべての自治体の図書館に調査をして、その結果をまとめたものです。この記事を見ると、花巻市立図書館の場合は「状況に応じて判断すると回答」というところにまとめられていますが、岩手日報からは記事にあるとおり「警察から任意捜査で利用者の情報を求められたら、提供するのか、拒否するのか」と質問されましたので、警察から状況をよく聞き取ったうえで「花巻市個人情報保護条例」や、日本図書館協会の「図書館の自由に関する宣言」などに基づいて適正に判断したいと回答したところです。「状況に応じて判断する」という記事でしたので、皆さんご心配されたのではないかなと思います。花巻市立図書館では、（現職員が知る限りでは）過去にこういった照会を警察から受けたことはなく、前例がないものでしたので、「仮にこうだったらこう」というようなお答えはできませんし、利用者の情報は非常に重要なものですので、もしそういった警察からの申し入れがあったときには、きちんと状況を聞き取ったうえで「花巻市個人情報保護条例」や日本図書館協会の「図書館の自由に関する宣言」などに基づいて適正に判断していきたいという回答をしたところでした。

#### （○坂本会長）

はい、それなら納得です。

#### （○市川委員）

それに関してなのですが、私も記事を「こういうのがあるんだな」というように見たのですが、状況に応じて判断するという、その判断の責任はやはり館長が判断するということになりますか。

#### （○梅原花巻図書館長）

「花巻市個人情報保護条例」などに照らし合わせるときに、私だけではなく、本市には法務専門監もおりますので、法律に詳しい方など複数の方に相談しながら適正に判断していきたいと思います。

#### （○坂本会長）

「どんなことがあっても提供しない」という選択肢もあると思いますが、それ

が果たしてどうなのかということをひとりの判断ではなく、やはり専門家を交えて、条例などにきちんと基づいて判断するということ。この記事は、「県内の公立図書館が警察から任意捜査で利用者の情報を求められたら、提供するのか、拒否するのか。岩手日報社の調査によると、今後照会依頼があった場合、県立図書館と全33市町村中22市町村の公立図書館が『提供しない』とした一方、北上、葛巻の2市町は『提供する』、花巻市など9市町村が『状況に応じて判断する』と回答した。全国的に提供する例が増加する中、憲法が保障する『内心の自由』を守ろうとする図書館側と捜査機関のせめぎ合いが続いている。」というもので、7月7日の日曜日に大きく掲載されました。それでやはり、このような記事が出た限りは、どういうことでこのような回答をしたのかということを私たちも知っておくほうがよいのではないかなと思い、館長にお話しをしたところでした。

(3) その他は、ほかにございませんでしょうか。

それでは、4 その他、市川部長お願いいたします。

#### 4 その他

(○市川生涯学習部長)

建設予定の新図書館について、状況をご説明いたします。

これまでの流れとしましては、花巻駅東側のJ R東日本の所有地に図書館を建設したいということで交渉に入っているという状況をご説明してきました。ただし現段階では、まだ具体的なことは決まっていないという状況です。J R東日本も大きい会社ですし、単純に用地を市が譲り受けるという状況でもない、ということから、現在も交渉中で、まだ具体的なお話しをできる段階にはありません。そのような中でも、今年度中には基本計画、具体的な面積など原案を作成いたしまして、市民の皆さんに見ていただきたいというように考えております。事務局サイドでは、J R東日本との条件の交渉を進めながら、基本計画策定に向けて、最近の図書館について研究を行っているという状況でありますので、本日は最近の図書館の例を何例かご説明をしたいと思います。

(宮崎県都城市立図書館、福島県南相馬市立中央図書館、青森県十和田市立図書館の事例を説明。)

先進事例を研究しながら、いいものを作っていきたいと思っておりますし、新図書館の場所がはっきりしますと、具体的なプラン、大きさもでて、お話しできるような状況になると思います。

なかなか進まずにご心配をおかけしておりますが、事務局は頑張っているということを少しPRさせていただいて、ご意見をいただければというように思っ

おりますので、よろしくお願いします。

(○坂本会長)

ありがとうございます。いろいろな人から聞かれたら、「事務局は頑張っているよ」というようにお伝えいただければと思います。「きちんとしたものができると思うから」と。よろしくお願いします。

ほかにはございませんでしょうか。

それでは事務局にお返しいたします。

(○久保田花巻図書館副館長)

ありがとうございました。事務局でほかに用意している議題はございませんので、皆さまから特になければ、終了したいと思います。

## 5 閉 会（久保田花巻図書館副館長）